

TCL

2.0 ch Dolby Atmos オールインワン サウンドバー

S45H

取扱説明書



コンテンツ

1 安全上の注意 3

2 ようこそ 6

内容物	6
サウンドバーの概要	8
サウンドバーの配置	10
サウンドバーの壁面への設置	10
リモコンの電池の取り付け／交換	14
リモコンの概要	15

3 サウンドバーシステムとの接続 18

HDMI ケーブルでの接続	18
光デジタルケーブルでの接続	20
オーディオケーブルでの接続	21
光デジタルケーブルを使ったサウンドバー設置の方向性	22
サウンドバーと電源の接続	23
サウンドバーを Bluetooth で接続	24

4 サウンドバーシステムの使用 26

サウンドバーの本体やリモコンでの操作	26
Bluetooth デバイスの音楽を聴く	28
USB ケーブルやデバイスでの音楽再生	29

5 ソフトウェアの更新	30
オンラインアップデート	30

6 仕様.....	32
------------------	-----------

7 注意.....	33
使用済みの製品および電池の廃棄について.....	33
商標について.....	34

8 よくある質問	35
-----------------------	-----------

1 安全上の注意

- 安全に関するすべての注意事項をよく読み守ってください。
- このサウンドバーは屋内のみ使用可能です。万一、少しでも水に触れてしまった場合は、すぐに電源コードを抜き、乾いた布で水分をふき取ってください。
- 長時間使用しないときや雷雨のときは、サウンドバーの電源コードを抜いてください。
- 最高の視聴体験を実現するために、サウンドバーがテレビの下の安定した場所に設置されているか、しっかりと壁掛けされているかを確認してください。
- リモコンには、1.5Vの単4形乾電池をご使用ください。また、充電式電池は使用できません。
- ケーブルに目に見える損傷や、変形が発生した場合は、サウンドバーの電源コードを抜き、ケーブルを交換してください。
- HDMI ケーブルや光デジタルケーブルを強く折ると、性能に影響を与える可能性がありますので、ご注意ください。
- 音量を上げすぎると聴力に悪影響を及ぼす場合があります。適切な音量に調整してください。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。付属の電源コードを本機以外の機器に使用しないでください。
- 電池を日光や火気などの過度の熱にさらさないでください。
- 絶対にご自分で本機を開けないでください。内部に高電圧部品があり、火災や感電の原因となります。保証修理についてはご購入店もしくは当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

安全に関する重要な注意事項

この製品を使用する前に、すべての安全情報を必ずお読みください。

当社は、本製品の不正な変更、改造、または不適切な使用によって生じた事故や損害について、一切の責任を負わないものとし、

本書は www.tcl.com/jp の製品ページに掲載されております。

	注意事項 感電の危険性 開けないでください	
注意事項:感電の危険を避けるために、カバー(または背面)の取り外しは禁止です。 内部にお客様が修理できる部品はありません。 修理はサービス担当者に依頼してください。		



この記号は、製品内部に感電の危険を引き起こす非絶縁の危険電圧が存在することを示しております。



この記号は、製品に添付される資料の中に重要な操作や保守(サービス)の指示があることを、お客様にお知らせするためのものです。



この記号は、本製品が危険な電圧とお客様が触れられる部分との間に二重絶縁が施されていることを示すものです。修理の際は、必ず同一の部品に交換してください。

警告事項

- 火災や感電の危険を減らすために、この製品を雨や湿気にさらさないでください。本製品を水滴や飛沫がかからないようにしてください。製品の上や近くに花瓶などの液体が入ったものを置かないでください。
- 本製品は、壁面に正しく設置または取り付けられないと不安定になります。安全を保証するために、必ず取扱説明書に記載されている壁掛けの方法に従ってください。
- 窒息の危険を避けるために、ペットや赤ちゃん、子供のそばにはサウンドバーの包装袋を置かないようにしてください。
ベビーベッド、ベッド、チャリ、FCCサークルの中で包装袋を使用しないでください。
- 放射性妨害波の規格である、FCC クラス B の制限に確実に準拠するため、本機にはシールドケーブルを使用する必要があります。

安全性

- この説明書を読む** - 製品を操作する前に、すべての安全および操作に関する説明書をお読みください。
- 説明書の保管** - 安全および操作に関する説明書を保管し、後で参照できるようにしてください。
- 警告事項の遵守** - 製品および取扱説明書に記載されているすべての警告を守ってください。
- 指示の遵守** - すべての操作および使用上の指示に従ってください。
- 水辺などの場所での使用禁止** - この機器は水や湿気の多い場所、例えば湿った地下室やプールの近くで使用しないでください。
- 乾いた布で拭いてください。**
- 通気口をふさがないでください。** 取扱説明書に従って設置してください。
- ラジエーター、暖房器具、ストーブ、その他熱を発生する機器(アンプを含む)などの熱源の近くに設置しないでください。**
- 電源コードは、特にプラグやコンセント、製品から出る部分で、踏んだり挟んだりしないように保護してください。** 電源コードが破損した場合は、メーカーまたは販売店から入手できる専用のコードに交換する必要があります。
- メーカーが指定した添付品 / 付属品のみを使用してください。**
- メーカー指定のカート、スタンド、三脚、ブラケット、またはテーブル、装置と一緒に販売されたもののみを使用してください。** カートを使用する場合、転倒による怪我の恐れがありますので、カート / 装置の組み合わせを移動する際に十分注意してください。



- 雷雨のとき、また長期間使用しないときは、本機の電源プラグを抜いてください。
- すべての修理は、資格のあるサービス担当者に依頼してください。電源コードやプラグが破損している、液体をこぼした、異物が入った、雨や湿気にさらされた、正常に動作しない、落としたなど、何らかの理由で本体が損傷した場合は、修理が必要です。
- お客様は、常に製品から 20cm 以上の距離を保つ必要があります。
- 監視なしで幼児や病弱な方がこの電気製品を使用してはいけません。小さなお子様が本製品で遊ばないように、監督してください。

注意事項

- 感電を防ぐため、電源コードのプラグはコンセントにしっかりと正確に差し込んでください。
- 本製品に危険なものを置かないでください(例:液体の入ったもの、火のついたロウソクなど)。
- 製品に何かしらの不具合を見つけたときや、長期間使用しないときは、電源コード抜いてください。
- 本書に記載されていない制御や調整、手順の実行は、危険な放射線被ばくやその他の危険な動作につながる可能性があります。
- 電源コードを電源タップに差し込んで使用する場合は、電源タップをすぐに操作できる場所に設置してください。
- 定格銘板は、製品の底面または背面に貼られています。

電池に関する注意事項

- 電池(新旧またはマンガン電池とアルカリ電池)を混ぜて使わないでください。
- 電池を火中や水中に廃棄しないでください。
- 電池は、お住まいの地域の自治体の基準に従ってリサイクルまたは廃棄してください。
- 電池の交換を誤ると爆発の危険があります。同一機種または同等品と交換してください。
- リモコンを長期間(1ヵ月以上)使用しないときは、電池の液もれを防ぐため、リモコンから電池を取り出してください。
- 電池が液漏れした場合は、電池ボックス内の液漏れを拭き取り、新しい電池と交換してください。
- 電池を熱や湿気から遠ざけてください。
- 電池を他の金属物と一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。上記の行為は、電池の短絡、液漏れ又は爆発を引き起こす可能性があります。
- 充電式電池は使用できません。
- 電池が破裂した場合、当該電池の使用を中止し、子供に触らせないでください。

製品と電池の廃棄

製品は、リサイクルや再利用が可能な高品質の材料や部品を使用して設計・製造されています。この製品は、鉛と水銀を含む可能性があります。また、環境への配慮から廃棄が規制される場合があります。廃棄やリサイクルについては、お住まいの地域の自治体にお問い合わせください。

本製品には電池が含まれています。

- 焼却しないでください。電池は過熱すると破裂する可能性があります。
- 廃棄やリサイクルについては、お住まいの地域の自治体にお問い合わせください。

注意事項:不適切な種類の電池と交換した場合、爆発する危険性があります。

注意事項:不適切な種類の電池と交換すると、安全装置を破壊する可能性があります。

注意事項:電池を火中や高温の炉内に捨てたり、機械的に押しつぶしたり、切断したりすると、爆発することがあります。

注意事項:電池を極端に高温の環境に放置すると、爆発したり、可燃性の液体または気体が漏れたりする可能性があります。

注意事項:極端に低い気圧にさらされた電池は、爆発や可燃性の液体または気体が漏れる可能性があります。

2 ようこそ

この度は TCL サウンドバーをご購入いただきありがとうございます!接続・セットアップが終わりましたら、ホームエンターテインメントシステムに最適で優れた音質と最先端のデザインを体感いただけるでしょう。操作を簡単かつ適切に行うために、この取扱説明書をよくお読みください。

では、始めましょう!

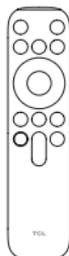
内容物



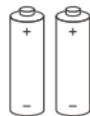
サウンドバー



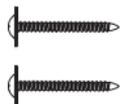
電源コード



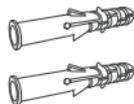
リモコン



単4電池×2



壁掛け用ネジ× 2



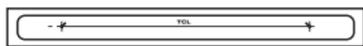
ウォールアンカー × 2



ウォールマウントブラケット
× 2



HDMI ケーブル



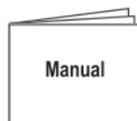
壁掛けテンプレート



保証書

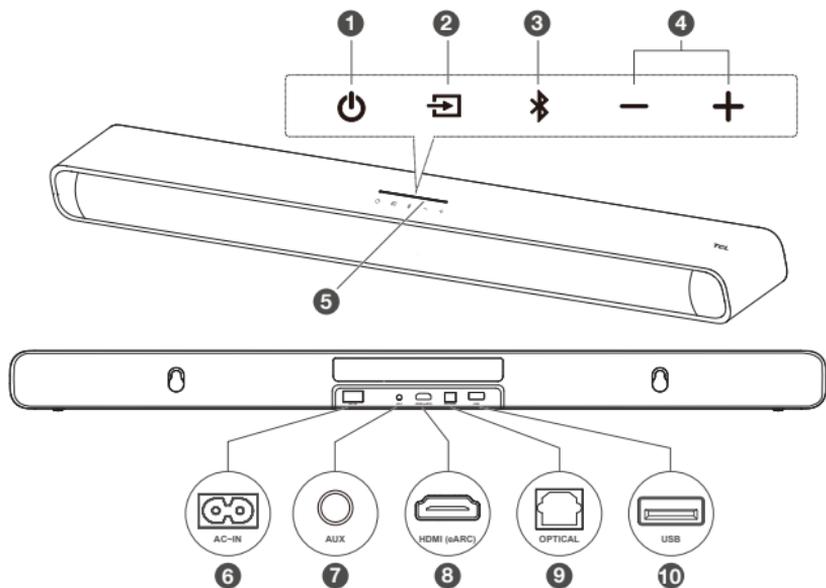


クイックスタートガイド



取扱説明書

サウンドバーの概要



- 1 
短押し：電源オン/スリープ
長押し：電源オフ
- 2 
短押し：入力ソース切替
HDMI eARC/光デジタル/AUX/USB/Bluetooth
- 3 
短押し：Bluetooth モード選択
長押し：Bluetooth ペアリング

- 4 **—/+**
ボリューム調整
- 5 **入力ソース LED インジケーター**
HDMI eARC: マゼンタ
光デジタル: イエロー
AUX: 緑
USB: シアン
Bluetooth: 青
- 6 **AC 電源端子**
- 7 **AUX 入力端子**
- 8 **HDMI eARC 端子**
- 9 **光デジタル入力端子**
- 10 **USB Type A 端子**

注意:

- **初期化:** サウンドバーのパネル上の 3 つのキー **—**、**+** と **—** を同時に 10 秒間長押しして、LED が白く点滅してから消えるまで待ちます。

サウンドバーの配置

サウンドバーを設置する理想的な場所は、テレビの下の中央です。

サウンドバーは、キャビネットの上部、テレビの中央の真下に設置することをおすすめします。

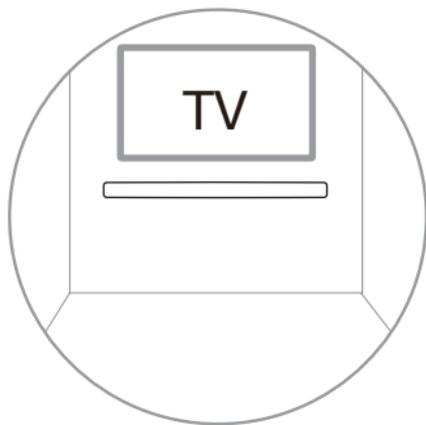


サウンドバーの壁面への設置

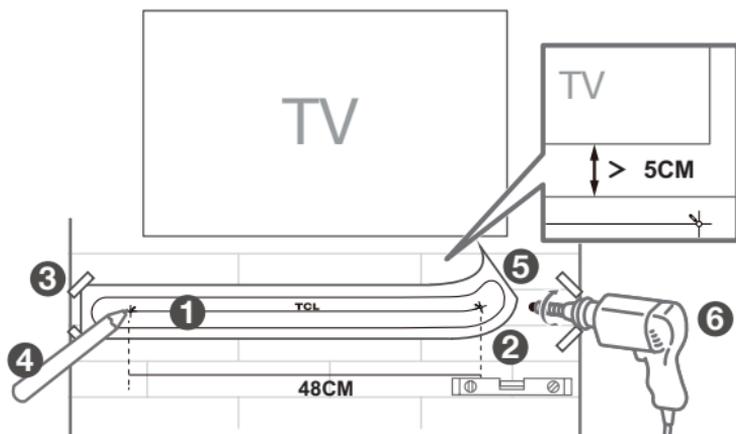
注意

- サウンドバーを壁に取り付ける前に、必ずすべての安全情報をお読みください。
- 必ず正規メーカーが提供する、または指定するネジをお使いください。
- 誤った取り付け方やネジの設置、壁の強度不足などによる事故や破損について、TCLは責任を負いかねますのでご了承ください。
- 取り付けには、別途工具（付属なし）が必要です。
- サウンドバーをテレビの中央より下に設置するか、壁掛けにするかを選択できます。

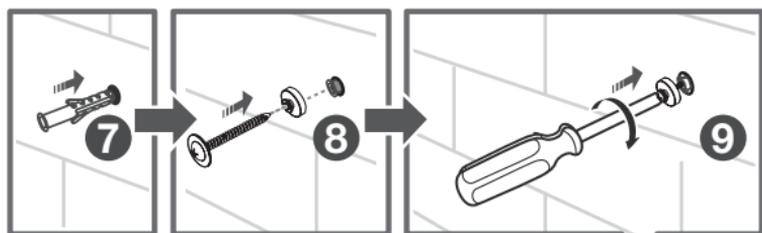
- 1 付属の壁掛けテンプレートを壁にあててください。壁掛けテンプレートがテレビの中心から5センチ以上の距離が空いているかを確認してください。
- 2 水準器を使って、壁掛けテンプレートが正確に位置決めされていることを確認してください。
- 3 テープで壁掛けテンプレートを壁にしっかりと貼り付けてください。



- 4 テンプレートの各マークを使用して、取り付け穴から壁にマークを付けます。
- 5 壁掛けテンプレートを取り外してください。
- 6 壁の各マークにネジ穴を開けてください。



- 7 壁の穴にウォールアンカーを挿入します。
- 8 同梱の壁掛け用ネジをウォールマウントブラケットとともにウォールアンカーの穴に挿入します。
- 9 壁掛け用ネジを壁に締めて固定してください。
(ネジキャップとブラケットの間に隙間を保つ必要があります)
- 10 サウンドバーを持ち上げ、絵を掛けるように、壁掛け用ネジと壁掛けブラケットの隙間に引っかけてください。
2か所ともにきちんと引っかかっていることを確認してください。



10



注意

- サウンドバーを直射日光、熱、火、または湿気にさらされる場所に置かないでください。高さ 200cm 以下の場所でお取り付けください。

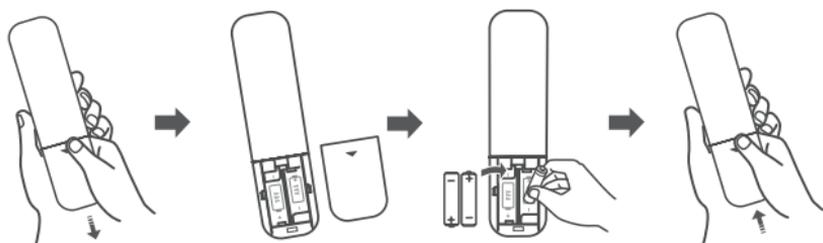
リモコンの電池の取り付け／交換

警告

- 誤った電池の交換は爆発の危険があります。同じ型番または同等品とのみ交換してください。

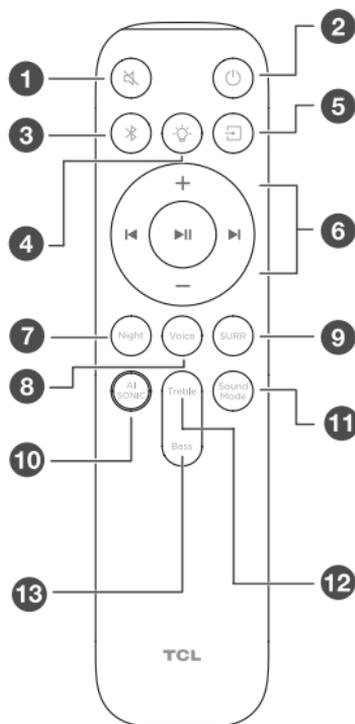
注意事項

- 電池には過塩素酸塩が含まれていますので、取り扱いには注意してください。詳細については、www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate をご参照ください。
- 1 電池ボックスを開き、必要であれば古い電池を取り出します。
 - 2 新しい単4形電池2本を、正しい極性 (+/-) で電池室に入れてください。
 - 3 電池ボックスを閉じます。



準備が完了しました。サウンドバーが使用可能になりました。その他のサウンドバーの接続方法については、次の章を参照してください。

リモコンの概要



- ① 短押し：ミュート/ミュート解除
- ② 短押し：電源オン/スリープ
長押し：電源オフ
- ③ 短押し：Bluetooth モードを選択する
長押し：Bluetooth ペアリング
- ④ 短押し：LED の明るさレベル変更
長押し：LED ライトのオン・オフ切替
- ⑤ 短押し：入力ソース切替
HDMI eARC/光デジタル/AUX/USB/Bluetooth

- ⑥ +ボリュームを上げる
-ボリュームを下げる
▶前の音楽を再生する；前の項目に戻る
▶次の音楽を再生する；次の項目に進む
▶▶音楽の再生／一時停止
- ⑦ ナイトモードのオン・オフ切替
- ⑧ 短押し：ボイスエンハンスモード
+/-短押し：ボイスエンハンスのレベル切替
長押し：ボイスプロンプト のオン・オフ切替
- ⑨ 短押し：サラウンド強化モード
+/-短押しで異なるレベルに切替
- ⑩ 短押し：AI Sonic-Adaptation メニュー
+/-短押し：AI Sonic-Adaptation 切替
デフォルト /Sonic 1/Sonic 2/Sonic 3
- ⑪ 短押し：入力音モード切替
標準 / 映画 / 音楽 / ボイス / ゲーム / スポーツ
- ⑫ 短押し：高音の効果を調整
+/-ボタンで高音域の増減
- ⑬ 短押し：低音の効果を調整
+/-ボタンでベースの増減

組み合わせキー：

1. とを同時に押して、DTS TruVolume のオン・オフを切り替えます。
2. とを同時に押して、DTS® Virtual:X™ のオン・オフを切り替えます。

注意：DTS® Virtual:X™ テクノロジーは、サウンドバーに革命をもたらし、余分なスピーカーなしで臨場感あふれるサウンドを提供いたします。映画もゲームも、平面的だった音声から、よりクリアなセリフと、包み込むような重低音で、感覚的な視聴体験へと進化させます。

DTS® Virtual:X™ 機能の実行中に高解像度オーディオコンテンツが使用されていることを確認してください。

サウンドバーは、電源、音量、入力切替、エフェクト、AIソニックなどを全てを、TCL HOME アプリを通じて完全に操作できます。TCL HOME アプリを使用して、追加のスマート機能を探求してください。

アプリストアから最新バージョンをダウンロードしてください。



TCL Home アプリ
あなたの TCL スマートハブ。
今すぐダウンロードしましょう！

3 サウンドバーシステム との接続

サウンドバーの位置を固定したら、テレビや他のデバイスに接続して、サウンドバーを通じて聴き始めることができます。テレビや他の機器をミュートにしてください。詳細については、テレビや該当機器の取扱説明書を確認してください。

HDMI ケーブルでの接続

注

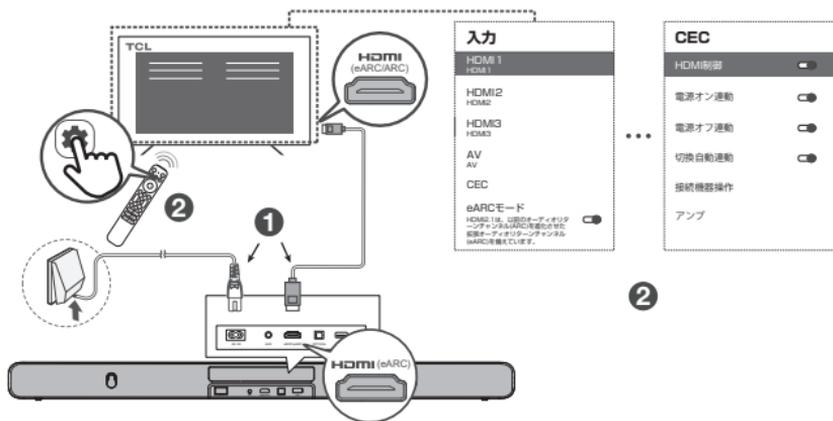
- お使いのテレビまたは機器が HDMI (eARC/ARC) 機能をサポートしていることを確認してください。詳細については、テレビまたはデバイスの取扱説明書を確認してください。

HDMI ケーブルの一端をサウンドバーの HDMI eARC 端子に、他端をテレビまたはデバイスの HDMI (eARC/ARC) 端子に接続してください。

HDMI ケーブルを使って最高のオーディオ体験をするために、以下の手順を実行してください。

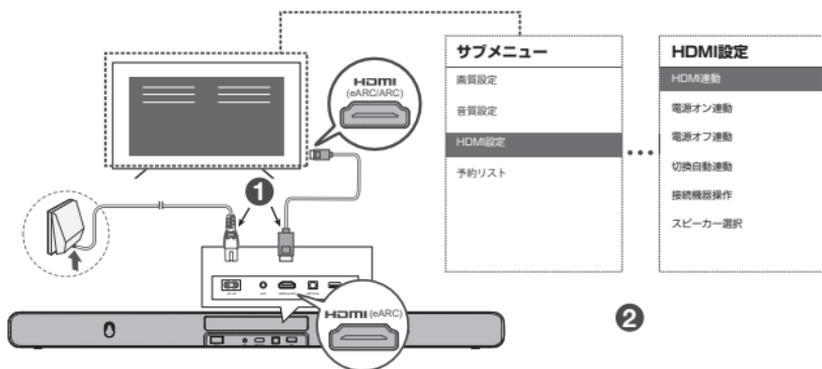
TCL テレビの設定：

- ① サウンドバーの HDMI (eARC) 端子から HDMI ケーブルをテレビの HDMI (eARC / ARC) 端子に接続します。
- ② テレビの設定で CEC 機能を有効にしてください。(操作方法はテレビの取扱説明書をご覧ください)



その他のテレビブランドの設定：

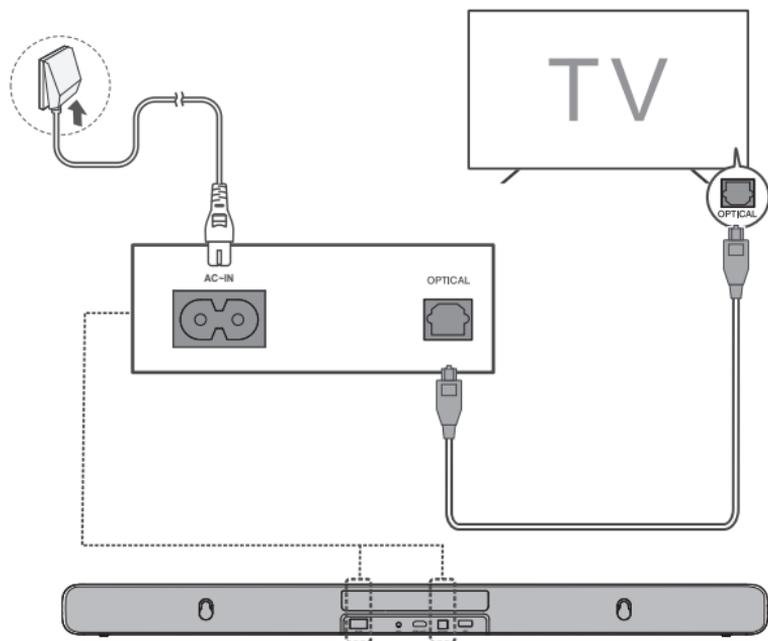
- ① サウンドバーの HDMI (eARC) 端子から HDMI ケーブルをテレビの HDMI (eARC / ARC) 端子に接続します。
- ② テレビの設定で CEC 機能を有効にしてください。



- ★ CEC (コンシューマーエレクトロニクスコントロール) 機能の名称は、テレビのメーカーによって異なる場合があります。この機能は、CEC、Anynet+、Simplink、BRAVIA Link、EasyLink、VIERA Link などと呼ばれることがあります。詳細については、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

光デジタルケーブルでの接続

- 1 光デジタルケーブルの保護キャップは、必要に応じて取り外してください。
- 2 光デジタルケーブルの一端をサウンドバーの光デジタル入力端子に、他端をテレビまたはデバイスの光デジタル出力端子に接続してください。

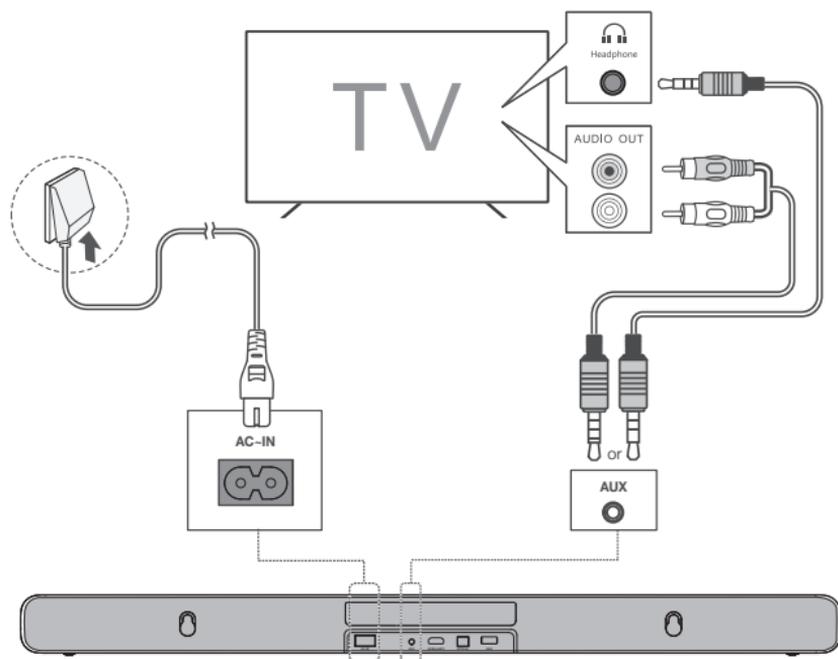


注

- サウンドバーから音がでない場合、テレビまたは接続デバイスで PCM 信号の出力を有効にしてみてください。PCM は、ほとんどの機器で音声信号をアナログからデジタルに変換いたします。PCM 信号出力を有効にする方法の詳細については、お使いのテレビまたは機器の取扱説明書を確認してください。

オーディオケーブルでの接続

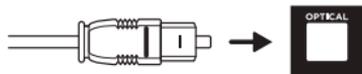
オーディオケーブル（付属していません）の一方の端をサウンドバーのAUX入力コネクタに、もう一方の端をテレビまたは機器のヘッドホンまたはオーディオ出力コネクタに接続してください。これにより、テレビの内蔵スピーカーの音が無効になります。



光デジタルケーブルを使ったサウンドバー設置の方向性



光デジタルケーブル (SPDIF) は壊れやすいので、折ったりねじったりしないでください。



光デジタルケーブルを使って最高のオーディオ体験をするために：

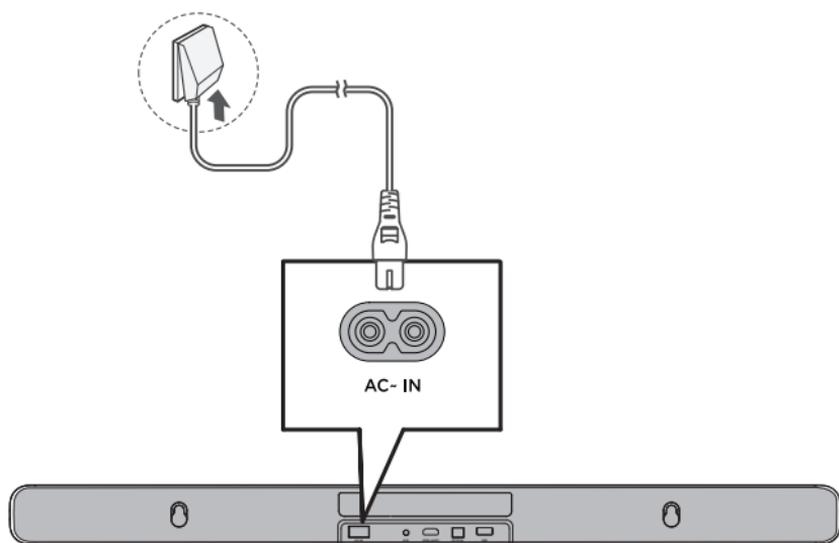
- 1 TCL テレビリモコンのホームボタンを押してください。
- 2 「設定」の下の「**オーディオ**」オプションを選択します。
- 3 テレビの設定を変更して、テレビの音声をスピーカーシステムから出力できるようにします。テレビによっては、スピーカーシステムを接続した時点で自動的に設定される場合があります。お使いのテレビの取扱説明書を参照してください。

注意

- 端末によってメニューが異なる場合があります。
- ブルーレイプレーヤー、セットトップボックスなどの機器も同様です。

サウンドバーと電源の接続

- 1 サウンドバーを電源に接続する前に、他のすべての接続が完了していることを確認してください。
- 2 電源電圧が各国の安全規格に適合していることを確認してください（32 ページの「仕様」を参照）
- 3 付属の AC 電源コードの一端をサウンドバーの AC 入力端子に、他端を壁のコンセントに接続します。



サウンドバーを Bluetooth で接続

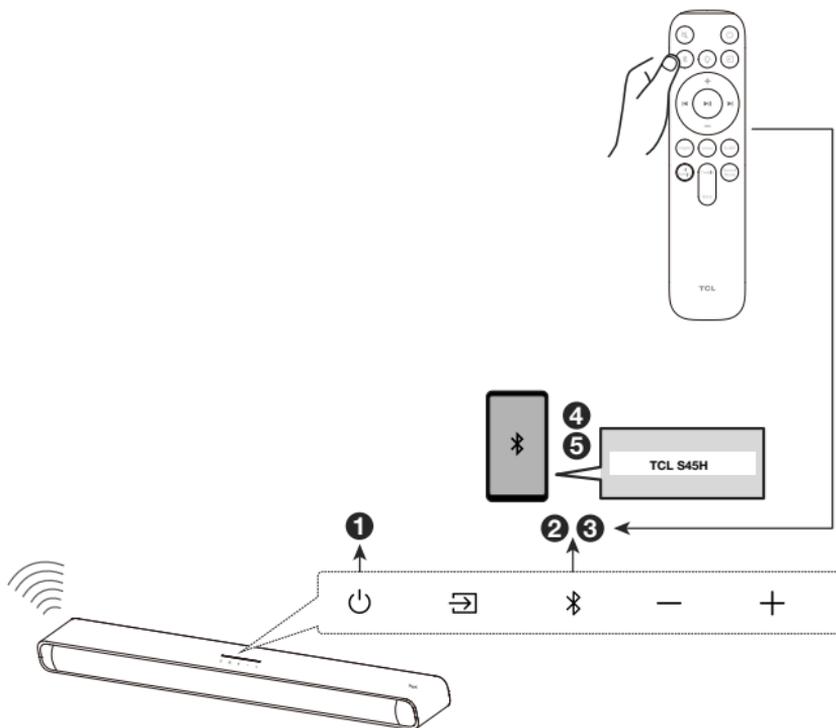
注意

- お使いのワイヤレスデバイスが Bluetooth 機能に対応していることを確認してください。
- サウンドバーと Bluetooth デバイスの動作範囲は約 10m です（Bluetooth デバイスとサウンドバーの間に障害物がない場合）。

- 1 電源ボタンを押す。
- 2 電源ボタンを押す。
- 3 リモコンにある電源ボタンを長押しするか、サウンドバーにある電源ボタンを長押ししてください。
 - 青いランプが高速で点滅します。
 - サウンドバーのペアリングが準備完了です。
- 4 Bluetooth デバイスの電源を入れ、Bluetooth 機能を有効にしてください。
- 5 **TCL S45H** を選択
 - 青いランプが 3 秒間点灯します。
 - ペアリングしました。
- 6 他のデバイスとペアリングする場合は、手順 3 を繰り返してください。

コツ

- モデル名が見つからない場合 Bluetooth 機器で、リモコンにある **✱** ボタンを長押ししてください。そうすると、青いランプが点滅し、サウンドバーがペアリングモードに入ります。

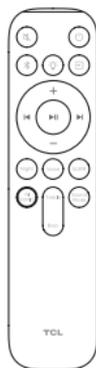


4 サウンドバーシステムの の使用

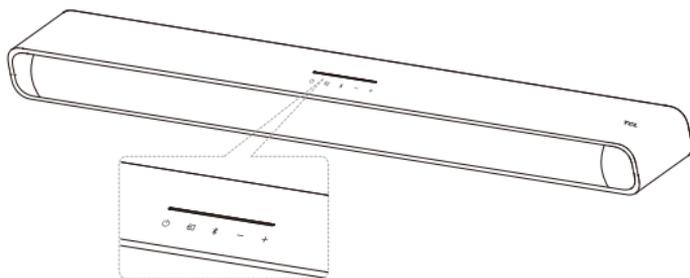
サウンドバーの本体やリモコンでの操作

1 サウンドバーが電源とソースに正しく接続されていることを確認してください。

2 サウンドバーの本体にある  を押すか、リモコンで正しいソースに切り替えます。



下部のLEDディスプレイは、右図のとおり、サウンドバーのアクションに対応して光ります。



リモコン	サウンドバーアクション	サウンドバーのLEDの動作
	電源オフ/スリープ パワーオン	電源オフ：全てのLEDが点灯し、その後側面から中央に向かって消灯していきます。 パワーオン：中央から側面に向かって、LEDが点灯します。
	サウンドをミュートする	ミュートオン：センターLEDが数回点滅します。 ミュートオフ：現在の音量レベルが表示されます。
	ソース	HDMI eARC：マゼンタ オプティカル：イエロー Aux：緑 USB：シアン Bluetooth：青
	LED	短押し：LEDの明るさレベルを変更します。 長押し：LEDライトのオン・オフを切り替えます。
	Bluetoothペアリング	青色LEDが急速に点滅します。
	ボリュームアップ/ ダウン 次へ/前へ	ボリュームアップ：LEDは中央から側面に向かって徐々に点灯します。 ボリュームダウン：LEDは側面から中央に向かって徐々に消灯します。 次へ：LEDは左から右へ移動します。 前へ：LEDは右から左へ移動します。
	サラウンドエンハンス	4つのサラウンドサウンドレベルを調整します。
	ボイスエンハンス	短押し：現在のボイスエンハンスレベルを表示します。 +/-キーで4段階の調整ができます。
	ナイトモード	ナイトモード・オン：中央から側面に向かって、LEDが点灯します。 ナイトモード・オフ：全てのLEDが点灯し、その後側面から中央に向かって消灯していきます。
	サウンドモード	ボタンを押して、次の順番でサウンドモードを切替： 標準 / 映画 / 音楽 / ボイス / ゲーム / スポーツ
	トレブル調整 ベース調整	短押し：現在のトレブルレベルを表示します。 +/-キーで増減し、13段階で調整ができます。 短押し：現在のベースレベルを表示します。 +/-キーで増減し、13段階で調整ができます。
	Sonic デフォルト / 1/2/3	短押しでAI Sonic-Adaptationメニューに入ります +/-短押しで次の順番でAI Sonic-Adaptationを切り替えます： デフォルト/Sonic 1/Sonic 2/Sonic 3

(注意) : サウンドバーの電源を入れた後、10 秒以内にサウンドバーまたはリモコンのどちらかで操作が行われない場合、サウンドバーのすべてのLED インジケーターが消灯します。操作を再開すると再び点灯します。

ヒント : リモコンでは、より高度な機能を使うことができます (P15 「リモコンの概要」を参照) 。

Bluetooth デバイスの音楽を聴く

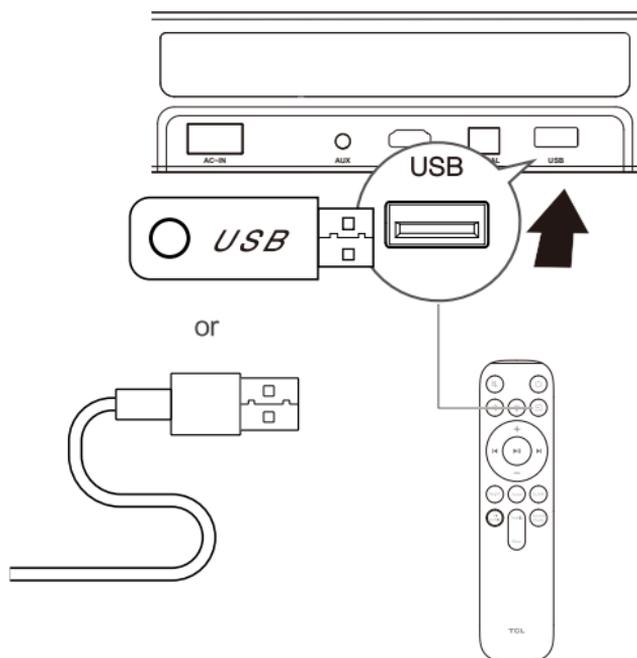
- 1 お使いの機器が A2DP および / または AVRCP をサポートしていることを確認してください。詳細については、お使いの機器の仕様を確認してください。
- 2 Bluetooth デバイスとサウンドバーをペアリングします (24 ページの「サウンドバーと Bluetooth デバイスとの接続」を参照) 。
- 3 Bluetooth デバイスに保存された音楽をサウンドバーで聴き始めます。
 - Bluetooth デバイスが A2DP に対応している場合、音楽を聴くことはできますが、再生の制御はできません。
 - お使いの Bluetooth 機器が AVRCP に対応している場合、リモコンで音楽を聴いたり音楽再生を制御したりすることができます。中央ボタンで音楽再生を一時停止または再開します。左 / 右のボタンで前のトラック / 次のトラックにスキップします。

注

- サウンドバーと Bluetooth デバイスの動作範囲は約 10m です (Bluetooth デバイスとサウンドバーの間に障害物がない場合) 。

USB ケーブルやデバイスでの音楽再生

- ・ リモコンの再生 / 一時停止ボタンを押して、音楽を聞いたり、一時停止したり、再開したりできます。
- ・ リモコンの左 / 右ボタンを押すと、前の曲または次の曲にスキップできます。
- ・ 上 / 下ボタンを押して、音量レベルを増減できます。



コツ

- ・ このサウンドバーは、最大 64GB のメモリーを持つ USB 機器に対応し、対応ファイル形式は MP3 です。
- ・ USB 機器のフォルダ内の音楽は、5 層以内でなければなりません。そうでない場合、サウンドバーは音楽を検出できません。

5 ソフトウェアの更新

TCL は将来的にサウンドバーのシステムファームウェアのアップデートを提供する場合があります。

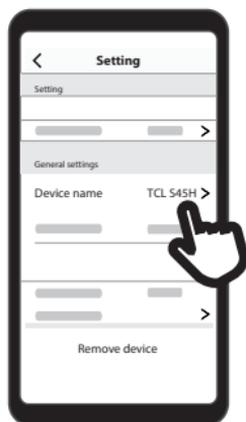
アップデートが利用可能な場合、TCL HOME アプリを使用してオンラインでファームウェアを更新して、サウンドバーをアップグレードできます。

オンラインアップデート

以下の画像に従って、TCL HOME アプリでファームウェアをアップデートしてください。

注

- 表示されるメッセージは異なる場合があります。
- アップデート中は TCL HOME アプリを終了しないでください。



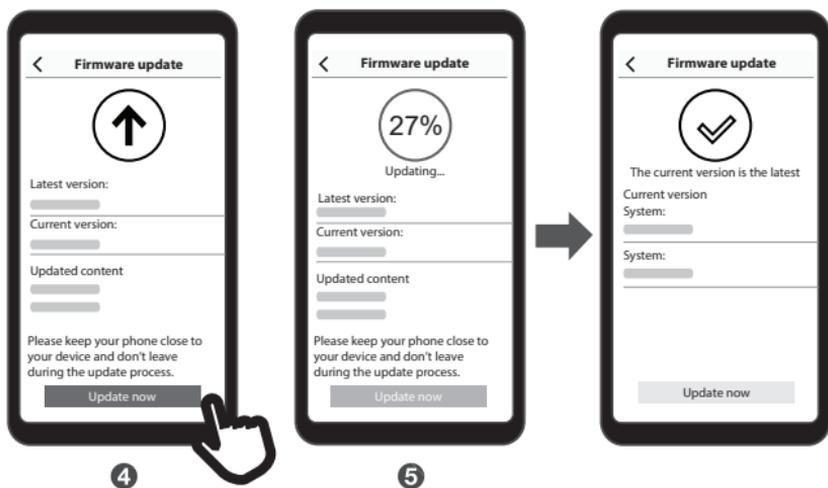
①



②



③



6 仕様

製品名

2.0 ch Dolby Atmos オールインワン サウンドバー
サウンドバー

- 電源：AC 100-240V[~]50/60Hz
- USB：5V \equiv 500mA max
- 電力消費量：38W
- スタンバイモード時の消費電力（電源ボタン長押し後）：
＜ 0.5W
- TCL Home アプリ使用時待機モードの消費電力：
＜ 2W
- インピーダンス：8 Ω
- 周波数特性：180Hz-20KHz
- 寸法（幅 x 高さ x 奥行）：810x60x98MM
- 重量：2.05 KG
- 動作温度：0° C - 45° C

Bluetooth

- Bluetooth バージョン：5.2、Bluetooth プロファイル -Bluetooth ステレオ対応（高度なオーディオ配信プロファイル -A2DP、オーディオビデオリモートコントロールプロファイル -AVRCP）
- 周波数範囲：2402 Mhz - 2480 Mhz
- 最大送信電力：9.024dBm

リモコン

- 距離 / 角度：6m / 30°
- 電池タイプ：1.5V 単 4 電池 × 2、ユーザー交換可能。

7 注意

使用済みの製品および電池の廃棄について



製品は、リサイクルや再利用が可能な高品質の材料や部品を使用して設計・製造されています。

古くなった電池の取り外し

古くなった電池を取り外すには、「リモコンの電池を入れる／交換する」の項をご覧ください。

環境保護と持続可能性

不要な包装をすべて省き、環境に配慮した包装を実現しております。

商標について

Dolby Atmos

Dolby、Dolby Atmos 及びダブルD記号は Dolby Laboratories Licensing Corporation の登録商標です。ドルビーラボラトリーズの実施権に基づき製造されています。不許複製。Copyright © 2012-2024 Dolby Laboratories. All rights reserved.

Bluetooth®

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、株式会社 TTE はこれらのマークをライセンスに基づき使用するものとします。その他の商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。

DTS の特許については、<http://patents.dts.com> をご参照ください。DTS, Inc. のライセンスに基づき製造されています。DTS, Digital Surround, Virtual : X、および DTS ロゴは、米国およびその他の国における DTS, Inc. の登録商標または商標です。© 2024 DTS, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

8 よくある質問

電源が入らない

- AC 電源コードと AC 入力端子が正しく接続されているかを確認してください。
- 電源が供給されているかを確認してください。
- サウンドバーの電源がオンになっているかを確認してください。

音が出ない

- オーディオケーブルがサウンドバーとお使いのデバイスに接続されているかを確認してください。
- 正しいソースを選択したかを確認してください。
- 上ボタンで音量を上げてください。
- サウンドバーがミュートになっていないかを確認してください。

音声が低い

- リモコンでボリュームを調節します。

リモコンが動作しない。

- 正しいソースを選択したかを確認してください。
- リモコンとサウンドバーの距離が動作範囲内であるかを確認してください。
- 電池が正しく挿入され、動作しているかを確認してください。
- リモコンがサウンドバーのリモコンセンサーから離れすぎていないかを確認してください。

音がひずむ。

- すべてのケーブルが正しく接続されているかを確認してください。
- 正しいソースを選択したかを確認してください。
- テレビから音声を再生する場合は、テレビがミュートされていないかを確認してください。

Bluetooth デバイスでこのサウンドバーの Bluetooth 名が見つけない。

- Bluetooth 機能が有効になり、LED が素早く点滅していることを確認してください。LED が常に点灯している場合は、リモコンの Bluetooth ボタンを長押しして、LED を素早く点滅させてください。
- サウンドバーが Bluetooth デバイスとペアリングされているかを確認してください。

TCL サポート:

詳細は www.tcl.com/jp をご覧ください。

TCL カスタマーサポートセンター:

0120-955-517

いつでもサポ ートいたします

ご不明な点がございましたら、お問い合わせください

補修用性能部品の保有期間は 8 年です。

Copyright © 2024 TCL. All rights reserved.

S45H-JP_UM_V1.0